

麗らかな四国 堪能して

JAL周遊観光 道後でバス出発式



観光客を乗せて松山市道後湯之町の放生園前を出発する周遊バス「JAL麗らかな四国号」

でもかんでもまぶしいなあ」の文字と、各県の偉人や名産物が描かれている。

周遊ルートは、道後―足摺、琴平―道後など六コース。今年は道後―足摺ルートに西予市の開明学校を新たな立ち寄りスポットとして加えるなど、見どころを増やした。

出発式で、関係者ら約三十人を前に、JAL松山支店の田中篤支店長が「今年は昨年より10%増の一万七千人を目標に、四国の観光需要増大に努めたい」とあいさつ。内子、大洲、足摺を周遊する十七人の観光客を乗せたバスを見送った。

日本航空グループの観光キャンペーン「JAL麗(うら)らかな四国」が七日始まり、七月中旬まで四国の名所を周遊する観光バスの出発式が、松山市道後湯之町の放生園前であった。

首都圏の観光客取り込みを目的に二〇〇四年から開始し、今年で

六回目。今回初めてバス「麗らかな四国号」の車体デザインを一般公募し、徳島県出身のデザイナー―西山雄さん(三〇〇東京都在住)の作品を採用した。

車体には、四国四県の方言を合わせた「まがん あばばい そなもし(本当に四国は何

ホームページ
動画ニュース